Tとことん、A会って、Cコミュニケーション!!

鳥取TAC通信

第１９６号　　令和８年９月発行

～稲わらの腐熟促進資材の活用について ～

水田では、稲わらを土づくり資材とともにすき込んでしっかり腐熟させることが、地力の維持とともに土壌の異常還元による水稲の生育不良を回避し、さらに温室効果ガスであるメタンの排出抑制にもつながる可能性があると期待されています。

○稲わらの分解が不十分だと・・・

1. 作物が窒素飢餓になる

土壌中の微生物が窒素（主にアンモニア）を吸収利用しようとするため、作物の吸収する窒素が不足し、作物生育が阻害されます。

2. 土壌中の酸素が不足する

水田では微生物の増殖により土壌中の酸素が少なくなり、還元の進んだ物質、有機酸や硫化水素が発生し、作物の養分吸収が阻害されます（ガスわきの発生、根腐れ）。

3. 作業機械、特に田植機の能率と精度が悪くなる

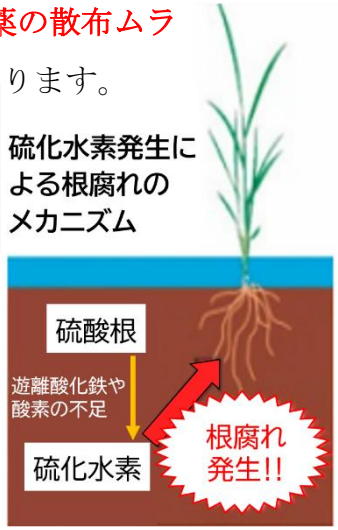
圃場に残った稲わらが田植機などに絡み、移植ムラや肥料農薬の散布ムラが発生しやすくなるほか、機械の作業性能も低下する可能性があります。



ガス沸きの発生



根腐れの様子



○稲わらの分解を促進するには・・・

1. 窒素成分を一緒にすき込む

石灰窒素：稲わらの分解を促進する効果が高く、土壌 pH をあげたり地力窒素を高める効果も期待されます。

2. 稲わら分解に寄与する微生物資材または酵素資材を散布してすき込む

微生物資材：ペレットや顆粒状に成形されており、散布がしやすいです。

酵素資材：施用量が少なくて良いことや土壌と混和しなくても稲わらに付着すれば効果が発揮されます。

○稲わら腐熟促進資材（例）

銘柄		①成分例 ②施肥量(反) ③形状	特徴
石灰窒素		①TN>19% ②20～40kg ③粒・粉・顆粒	1. 窒素が稲わら分解の微生物の増殖を促します。 2. 腐熟が進むと有機酸が生じて酸性となり、微生物の増殖も遅れて分解が弱まりますが、石灰が約60%含まれるので、微生物活性に最適な微酸性～ 中性の条件を維持します。
アグリ革命		① ー ②2kg ③顆粒	1. 稲わらを分解する酵素が含まれている資材です。土壌環境の影響を受けにくい特徴があります。 2. 稲わらが湿った状態の施用がより効果的です。 3. 顆粒状であり、2kg/袋を1袋/反で省力的です。 4. 撒きムラが無いように均一に散布します。
アグリ革命アクア		① ー ②100mL ③液状	1. 稲わらを分解する酵素が含まれている資材です。土壌環境の影響を受けにくい特徴があります。 2. 液状であり、100ml・1本/反で10~500Lの水に希釈し、動噴・ﾌﾞｰﾑ等で散布します。 3. 混用可能な除草剤もあります。

対照（無施用）　　石灰窒素施用



土壌混和 84 日目の稲わら（25℃培養）

稲わらの分解は微生物の働きなので、地温の高い時期の秋耕が腐熟促進に効果的です。



※土壌に約 3 か月埋設した時の稲わら

○水稲刈り跡散布

ラウンドアップを散布し、ひこばえや再生雑草を根まで枯らすことで以下の効果も期待できます。

1. 「ワキ」の原料となる有機物量を増やさない（ガスわき対策）
2. 腐熟促進を助ける
3. 秋耕がやりやすくなる（浅耕&耕起回数減）

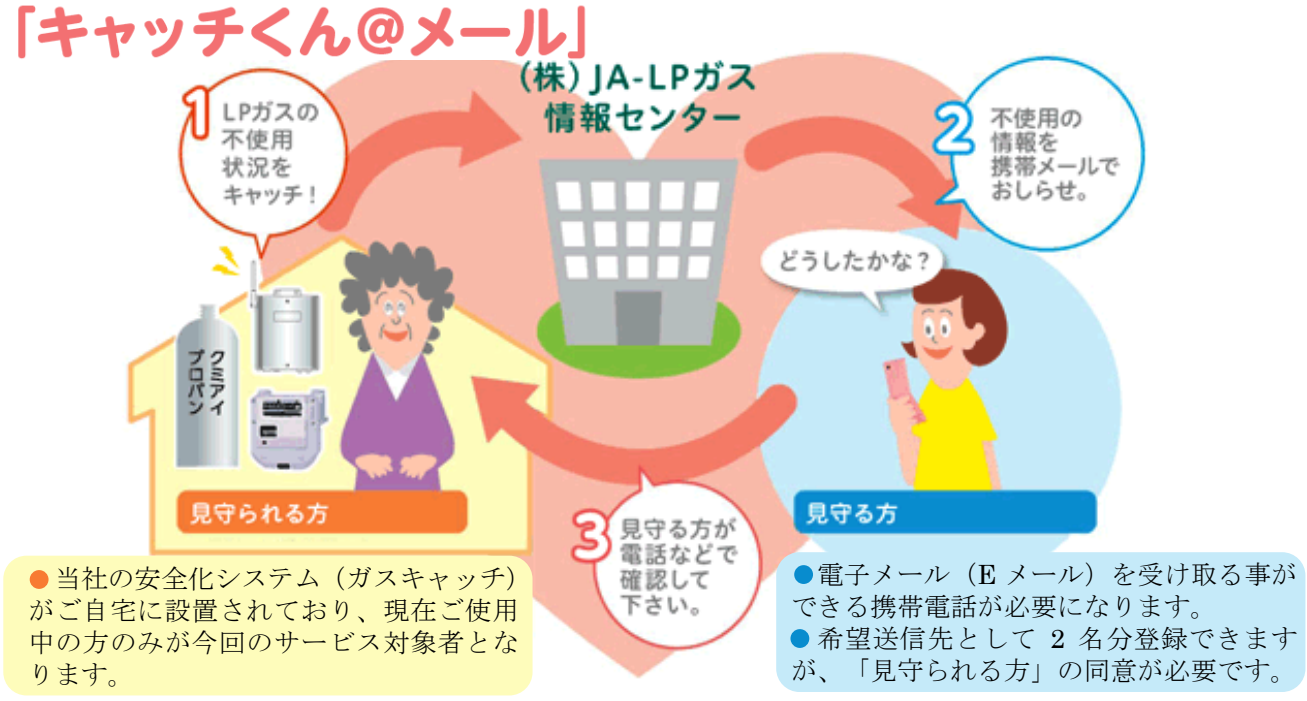


出所：刈取り後からできる高温対策導入ガイド（全農本所作成資料）
グリーンレポート No.639（2022 年 9 月号）

～ ＪＡ全農とっとり生活燃料課からのお知らせ ～

「キャッチくん@メール」サービスについて

クミアイプロパンをご利用で、当社の安全化システム（ガスキャッチ）を設置している方々を対象に、プロパン不使用情報を携帯メールでお知らせするサービスです。高齢のご家族（見守られる方）がガスを一定時間（24 時間または 48 時間）不使用の場合、離れた場所のご家族等（見守る方）の携帯電話に E メールでお知らせします。



●当社の安全化システム（ガスキャッチ）がご自宅に設置されており、現在ご使用中の方のみが今回のサービス対象者となります。

●電子メール（E メール）を受け取る事ができる携帯電話が必要になります。
●希望送信先として 2 名分登録できますが、「見守られる方」の同意が必要です。

キャッチくん@メールの仕組み



※お問合せは JA 全農とっとり生活燃料課までお願いします（0858 - 24 - 6732）。

～令和８年度ＴＡＣアグリビジネススクールについて ～

担い手の課題解決につなげるための営農（技術、地域振興および経営等）に関する知識取得および事例等の共有を図るため、今年度も以下の内容にて開催いたします。

すべてにご参加いただかなくても問題ありませんので、「この回の話を聞いてみたい」と思われる内容がありましたら、お気軽にご参加ください。（受講費用：無料）

回	日程	時間	テーマ
5	10 月 7 日(水)	10：00 ～ 15：00	会計、税務研修①
6	11 月 4 日(水)	10：00 ～ 15：00	会計、税務研修②
7	12 月 2 日(水)	10：00 ～ 15：00	会計、税務研修③
8	1 月 6 日(水)	13：00 ～ 15：00	農業現場における労務管理
9	2 月 3 日(水)	13：00 ～ 15：00	生産資材、技術情報②
10	3 月 3 日(水)	13：00 ～ 15：00	農政情報･総括と次年度の取り組み方針について

※内容は変更になる場合があります。
※カリキュラムによっては開始・終了時間が異なります。
※開催場所および各回の詳細内容、参加の申込につきましてはJA 全農とっとり TAC 推進課までお問い合わせください。

～ 今月のグリーンレポートはこちらから確認できます ～



QR コード



①「**全農**」で検索
②ホームページの「**ライブラリ**」をクリック
③「**全農の出版物**」をクリック
④グリーンレポート「**最新号**」をクリック

【問合せ先】JA 全農とっとり
資材部 TAC 推進課
TEL:0857-32-8341 FAX:0857-28-6750

TAC（タック）は「地域農業の担い手に出向く JA 担当者」の愛称です！